

【演習③】

LGBTQ の方の理解や関わり方について、深く掘り下げて体感する演習

【レポートのテーマ】

LGBTQ など多様性を包摂する支援を行うために、あなたができることを教えてください

レポート総評: 認定 NPO 法人 ReBit 薬師実芳

このたびは「LGBTQ など多様性を包摂する支援を行うために、あなたができること」というテーマに真摯に向き合ってください、心から感謝申し上げます。みなさま一人ひとりのレポートからは、知識の獲得にとどまらず、ご自身の立場や実践の中で何ができるかを丁寧に考え抜いてくださった姿勢が伝わってきました。

多くの方が、「まずは知ること」「無意識の偏見に気づくこと」「寄り添うこと」から始めたいと述べてくださったことは、インクルーシブな支援への第一歩としてとても力強いものです。また、職場や組織のなかでできる実践、たとえば相談体制の整備や、呼びかけ方・書類の表記といった日常的な工夫まで、具体的なご提案をいただいたことにも感銘を受けました。

一方で、「配慮のつもりが逆に距離を生んでいたのでは」「知らなかったがゆえに寄り添えなかったかもしれない」といった真摯に受け止めていただいたからこそその悩みの声もいただきました。ダイバーシティ&インクルージョンには 100 点はないからこそ、こうして悩みながら対話を続け、自分の言動を振り返ることそのものが、すでに包摂の実践であり、アライ(理解者)であると私は思います。

だからこそ、LGBTQ に限らず、多様性があるすべての人たちを尊重した支援と、一人ひとりがありのままで暮らせる社会に向け目指すために、これからも学び合い、行動し続ける仲間であっていただけたら幸いです。ありがとうございました。